

平成30年度 伊勢原市清掃美化審議会 会議録

〔事務局〕 経済環境部環境美化センター

〔開催日時〕 平成30年7月23日（月）午後2時30分～午後4時

〔開催場所〕 伊勢原市議会全員協議会 会議室

〔出席した委員〕 11名

勝 田 悟
田 中 松 治
武 藏 郁 夫
清 水 孝 一
稲 次 正 知
井 上 節 子
廣 瀬 房 治
高 橋 宏 昌
瀬 尾 茂
田 中 治 雄
宮 垣 弘 子

〔事務局〕

辻 雅 弘（経済環境部長）
石 田 康 弘（環境美化センター所長）
小 菅 賢 一（環境美化センター主幹兼収集業務係長）
石 川 知 行（環境美化センター資源循環係長）
秋 山 裕 亮（環境美化センター資源循環係）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 なし

〔経過〕 次のとおり

1 開会

2 会長あいさつ

○各委員による自己紹介

○事務局より、出席者11名、過半数の出席により、審議会が成立する旨を報告。また、本審議会が公開審議であること、会議録を作成し審議会出席者の氏名が公表される旨、個人情報取り扱いを説明した後、審議会配付資料の確認をする。

3 議事

【会長】 議題（1）環境衛生事業の概要について事務局に説明を求めます。

【事務局】 事前に配付している資料に沿って、環境衛生事業の概要を説明し、引き続いて、ごみ処理基本計画の進捗状況について説明を行った。

【委員】 段ボールの収集量が減っているが要因は

【事務局】軽量化されていること。スーパーなどでポイント交換しており、そこへの持込みが増えていることが要因と考えられる。

【会長】軽量化は年々進んできており、一昔前の段ボールと比べるとはっきりとした違いがわかる。

【事務局】続いて、事業系ごみの適正排出について本日配付した資料1に沿って、事業系ごみの自己処理責任、事業所等説明状況、今後の展開について説明した。

【委員】ごみは経済活動の副産物である。しかし、だからといって多量に出して良いわけでは無く、減量化の責務があると認識している。

【会長】議題(2)その他について、委員の皆様から意見を。

【委員】人口が増えているが、ごみは減っている。これは出前講座などの啓発がうまくいっているのではないだろうか。

【委員】減量がされているのは、市民一人一人の心がけでなっているため、市民に対し拍手をしてあげてもいいのでは、という気持ちである。

【委員】キューロについて。秦野では10,000円で作成し、5,000円で販売している。小田原では段ボールコンポストの無料配付をしたような記憶がある。

【会長】キューロを使っている人は税金が安くなるなどの経済的誘導が必要と思われる。頑張った人が税金を多く払っているのはおかしいことだと思う。

【事務局】本審議会は平成28年8月に委嘱し、今月いっぱい任期終了。任期中にごみ処理基本計画の改定について多くの意見をいただけたことにより、計画策定がより良い計画にまとめることができた。感謝申し上げます。
広報いせはら8月1日号においてごみ特集を掲載するため、ご覧いただきたい。今後は災害廃棄物処理計画の策定を始めていきたいと考えている。

【会長】これにて議事終了とさせていただきます。

4 閉会

【副会長】皆様、大変お疲れ様でした。以上をもちまして本日の審議会は終了とさせていただきます。ありがとうございました。